

U.S.-Japan Partnership for Quality Infra in the Third Country

第3国における日米インフラ協力 企業間パートナーシップの推進

『インド-パシフィックを自由で開かれた経済域にすべき理由』

- 日時: 2019年9月11日午後1時30分(受付開始午後1時より)
- 会場: エンジニアリング協会会議室 港区虎ノ門3-18-19、虎ノ門マリビル10階
- 主催: アメリカ大使館商務部
- 共催: エンジニアリング協会(ENAA)、海外建設協会(OCAJI)

この数年間、アジア諸国に質の高いインフラを構築することの重要性が政府間および民間においてもいっそう認識されるようになり、日本企業の海外進出に伴い、日米双方の企業が共働してプロジェクトに取り組む事例も増えてまいりました。しかし、依然として開発途上の国々では社会インフラの不足は深刻な状況にあり、とりわけ日米企業の先進的で高品質、環境負荷の低い技術が必要とされております。本プログラムは、双方の最新技術や事業体制に関して情報交換をしていただき、今後の共働を推進していくことを目的としています。

■ プログラムおよび基調講演 (日英両言語:通訳はつきません)

- 13:30 主催者あいさつ キース・カーカム アメリカ大使館商務部商務 商務公使
13:35 ごあいさつ 坂倉 俊之氏 海外建設協会 常務理事
- 13:40 **基調講演: 日米の企業にとってインド-パシフィック地域を自由経済域として維持することの重要性**
井形 彬氏 多摩大学大学院 ルール形成戦略研究所 客員教授
質疑応答
- 14:10 “日本アクアとのパートナーシップによる東南アジアでの発泡スプレー工法展開”
佐々木 吉信氏 ダウ・ケミカル日本株式会社
- 14:30 “米国発デファクトスタンダード化による海外展開—耐震用水道鋼管インフラの事例”
原 直樹氏 JFE エンジニアリング USA 代表取締役社長
- 14:50 “3Mの建設関連ソリューション”
萩原 広法氏 スリーエムジャパン(株)カスタマーリレーションズ本部長
- 15:10 ~ 休憩 ~
- 15:20 “環境負荷を減らし、安全性、作業効率を上げるプラント、ターミナル照明デザイン”
井芹 一郎氏 モスコライティングジャパン(株)マーケティングディレクター
- 15:40 “大林組の海外事業について—近年の海外進出状況および実績紹介”
望月 俊宏氏 (株)大林組アジア支店 土木部 担当部長
- 16:00 “AECOM社から見た東京2020後の海外市場動向の展望—
インド・太平洋地域における日米インフラ投資協調への鍵とは”
齋藤 弘氏 AECOM ジャパン代表取締役
- 16:20 ゲスト講演: **今後のADBプロジェクトについて**
小池 武生氏 ADB マニラ本部 官民連携部課長
- 16:50 ディスカッション・質疑応答
- 17:10 ネットワーキング懇親会
ごあいさつ 前野 陽一氏 (財)エンジニアリング協会専務理事
- 18:40

Program is subject to change

参加お申し込みはこちらのリンクより <https://www.ena.or.jp/seminar/39601> 申込期限 9月5日

お問い合わせは:アメリカ大使館商務部清水へ:

misa.shimizu@trade.gov

アメリカ大使館商務部

03-3224-5078